

### 学校教育目標 やる気いっぱい えがおいっぱい 大正小

- 【知】進んで学習に取り組み、できる喜びを実感しながら、問題解決に向かって粘り強く取り組む姿勢を育てます。
- 【徳】社会生活をしていくうえでルール必要性やその意義を知り、自分と同じように相手を認める心と態度を育てます。
- 【体】自分の友達の心身・生命を大切にす気持ちを持ち、自ら進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます。
- 【公】なかよし班活動などを充実させ、地域社会との連携を深めながら共に生きる姿勢を育てます。
- 【開】国際理解教室、英語教育、「横浜の時間」などを通し、様々な現代的な課題に対応できる力を育てます。

### 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、明るく活発で、誰とでも仲良く遊ぶことのできる子どもである。一方、友達の気持ちを考えてかかわったり、地域で進んで挨拶してかかわろうとしたりすることが十分でない実態がある。互いに気持ちよく過ごせる、道徳的な態度を身に付けさせたい。

### 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。「特別の教科 道徳」の時間の充実。
- ・「運動会」や、なかよし活動等を通してたてわり活動や異学年との交流を大切にして、主体性や責任感、思いやりや協力し合う心を育てる。
- ・「大正フェスタ」「なかよし活動」等、様々な活動を通して自主性や連帯感・相互理解を育て、全力でチャレンジする意欲を育む。
- ・できる形での音楽朝会（ビデオでの音楽の発表など）を中心に音楽に親しむ環境づくりやひびき合い、互いのよさを認め合う心を育てる。
- ・美しい言葉にふれ、様々な自然を感じながら、俳句作りをすることによって豊かな心を育てる。

### 「特別の教科 道徳」の時間の充実

道徳教育の要として、全教育活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

児童一人ひとりが、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる時間とする。

- ・全学級が道徳の授業を家庭・地域に向けて年1回以上行う。（視点1）
- ・ユニセフ募金などボランティア活動への積極的に参加しふれあいをもつ。（視点3）
- ・朝の読書活動を通して、豊かな感性を養う機会を多くもつ（視点11）

### 確かな人権感覚・意識の育成

- ・配慮を要する児童については、月1回の全職員による特別支援委員会や職員の打合せの中で、定期的に、または適宜に協議する。
- ・Y・Pアセスメントの支援検討会を実施する。（視点8）
- ・人権研修を実施する。（視点6）
- ・取り出して学習する特別支援教室や、ティームティーチングによる学習等、児童のニーズに合った支援をする。（視点7）